



子供の歯並びは生活習慣で変わる・・・？（築野）

～悪いくせを正しましょう！！～

昭和の時代に比べて、子供さんの『歯並び』に関心を持つ保護者が増えました。
歯並びが悪くなる原因として、どなたかの遺伝要素がある可能性は高いといえます。
しかし遺伝だけではなく、幼少からの習慣さえも大きく関わっていることも事実なのです。

以下のような咬み合わせに見覚えはありますか？

★舌で前歯を押し・指しゃぶり

舌で歯が押され続けると、
上の前歯が出てきたり、奥歯を噛んでも前歯が噛み合わず
上下の歯がかみ合わない（開咬）になってしまいます



★口呼吸

常に口が開いた状態なので、舌を喉の奥に引き込む筋肉を
鍛えることができずに、歯が前歯を押ししてしまうため
前歯が前に飛び出す（前突）に顎の成長にも支障をきたします



★ほおづえ

押される力が片方に加わり続けることで顎の形にも
影響し歯が斜めになり咬み合わせが横にずれて（交叉）します



★下顎を前に出す

顎の発達時期に下顎が前に出て（下顎前突）成長してしまいます



★爪噛み

歯がデコボコしたり重なりあって生えてきてしまう（叢生）になります

歯並びが悪いと、上手に咀嚼ができず食べ物を丸飲みし胃腸に負担がかかる可能性があります。

また、歯磨きが難しくむし歯や歯周病になるリスクも高まります。

悪い習慣を早く直すことで予防できるケースが多いので心掛けるようにしましょう。

当院では**プレ矯正トレーナー**での訓練をお勧めしています

口の周りの筋肉や舌のポジションを整える効果があり、歯並びも改善するケースが認められます。

ジェネリック医薬品 (黒川)



テレビや新聞などのメディアにともたびたび登場するジェネリック医薬品！

医療機関を受診して処方箋を持って薬局に行くと、

「ジェネリックにしますか？自己負担額が軽減できます！」と聞かれる機会が増えてきました。

医師から処方される「医療医薬品」は、新薬（先発医薬品）とジェネリック医薬品（後発医薬品）に分かれます。

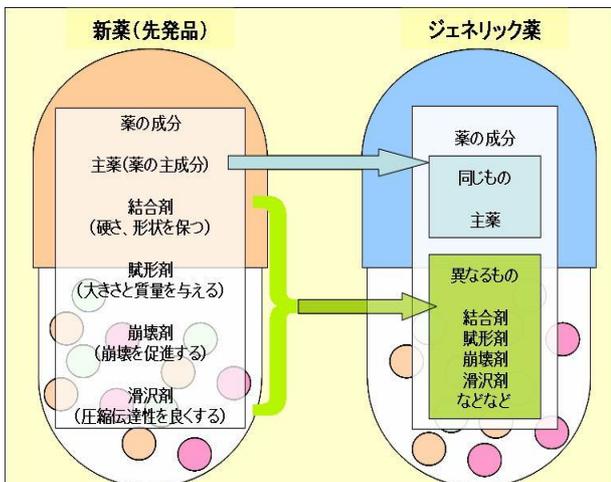
新薬を開発するためには長い月日と莫大な費用がかかります。

新薬を開発した会社は、特許、再審査によってその権利と利益が守られています。

具体的には開発してから、特許の存続期間満期まで（原則20年、最大25年）、つまりこの期間は、他の会社は同じ成分の薬を作ることは出来ません。

しかしこの期間が過ぎると、どんなに素晴らしい薬でも開発した会社の財産ではなく、国民全体の財産と考えられるようになります。

ジェネリック医薬品とは正式には「後発医薬品」と呼ばれ、特許存続期間が終了した先発医薬品と同じ有効成分を使って作られた医薬品です。ジェネリックは英語で「一般的な」という意味を持つ単語です。欧米ではお薬を処方する時に、ブランド名ではなく一般名（generic name）で処方している事に由来して世界共通の名前になったそうです。



ジェネリック薬は、主成分は新薬と同じです。製品の製法や効果が全く同一という意味ではありませんので、主成分以外の薬の形を作る成分が異なります。

例えとしては、どのブランドの牛乳を好みますか？どのコーラがお好みですか？え、どちらも飲まない？

さて、主成分は似たようなものでも、それ以外の何かが微妙に異なるので同じ味がしないのでしょうか。

食品も医薬品も口に入れるものであるため、安全性や信頼性が不可欠です。でも製造されたものがもたらす結果（食品なら味、薬なら効果や副作用）に違いが出て困りますね。

国の医療費負担の増加は大きな問題です。ジェネリック医薬品は医療費の削減に寄与すると言われていますが、医師や薬剤師と相談の上、ご自身に合った選択することをお勧めします。